



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099(226)5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間共1100円

道標



Yet... Joy! Hope! Gratitude!

骨を埋める決意し叙階 ティエン神父(ベトナム)誕生!



接手を受けるティエン師

祖国ベトナムを離れ、鹿兒島教区に骨を埋める決意をしたガブリエル・ジョン・ウアン・クオク・ティエン師(四十歳)の司祭叙階式が、七月二十三日(日)午後二時から鹿兒島カテドラルであった。教区で叙階式が行われるのは二〇〇三年の内野洋平神父(コンベンツアル会)以来、三年ぶり。会場には久しぶりの叙階式に喜びの信者たちが駆けつけた。

ベトナム南部フアンテイエト教区出身のティエン師は、生後間もなく受洗。司祭への召命にこたえてシトー会神学校へ進み、一九九四年同神学校を卒業している。日本とは違い司祭の召命が多いベトナム。しかし社会主義国ベトナムでは司祭の数は国によって管理

され、多くの神学生が司祭叙階を待たされている。教区がこの司祭叙階を待たされているベトナム人神学生に着目し、召命減少と高齢化からくる司祭不足解消の一助として、司教区創立五十周年を機に導入を決めたのが、このベトナムからの教区神学生の受け入れ。ティエン師は鹿兒島教区の要請にこたえてくれた

四人のうちの一人である。この日の叙階式には、様々な苦勞を乗り越え、それでも司祭職を目指し、自らの「司祭」という夢の実現にたどり着いたティエン師の姿に感動する人々の姿で溢れていた。「祖国を離

再建許可下りる —旧ザビエル聖堂—

旧ザビエル聖堂の保存部材は、2003年3月から宗像市の「福岡黙想の家」(御受難修道会)で保管されていたが、その再建許可が7月7日(金)の御受難修道会準管区会議で下りた。再建を目指してきた土田充義さんは「多くの方々の祈りと奉仕でここまでたどり着けた。今後も一つひとつハードルを越えて進み続けたい」と抱負を語った。



平和について考えよう!

—カトリック平和旬間—
8月6日~15日

計報

YET!

長年、ジョギングを楽しんでいる。そのきつかけははつきりしたものだ。ところが、走っているときに心地よさが、当時の動機付となったものはどこかに隠れてしまった。今はただ脚を一步、一步進めるその快感に冒されている。始めた頃は、走らないことが悪いことのように、強迫観念にも似た何かに憑かれたようにただひたすら脚を進めていた。最近ジョギングを始めたという方のブログ(sdeno.net8280/pken)を覗いてみた。そこにはジョギング時の街の様子、出会った人、風景まで掲載されている。そしてそれを讀んだ人からの心温まる返信。私が知りえなかった「立ち止まることでしか見えなかった世界」が紹介されていた。▼ブログの主から「愛」という字は、人が心痛めて去りがたい状況を表している。そしてそれを讀んだ人は速度重視の生活は、ゆつくりと育っている人の成長を見落とすとも。なるほど確かにそうだ。私の走りは現代社会の「負」そのままで、しかし理解したとはいえず、己の走りも生き方も変えるのは困難。ただ決めた。「それでも心のどこかに立ち止まる」ゆとりを残して脚を進めよう。

22人が宣教奉仕者に選任される

七月二日(日)カテドラルで宣教奉仕者の選任式があり、本土地区の七小教区から二十二人の宣教奉仕者が誕生した。今回選任されたのは、小教区活性化のために昨年から教区が取り組んでいる信徒奉仕者養成プログラムに従って準備を進めてきた人たち。福岡サン・スルピス大神学院での神学講座や教区内での講座、小教区での自主学習を経て、選任の運びとなった。

選任式では永山神父から呼び出された一人ひと

りに郡山司教から任命書と聖書が渡された。司教は「これからもイエス様に聞いてみたい一心で聖書を読んで欲しい。必ずイエス様のメッセージが伝わる。それを分かち合い、自分のことばで伝えて欲しい」と激励した。選任された人たちも「迷いや不安を乗り越え神に信頼して共同体、地域の人々の為に奉仕したい」と決意を述べた。

この日、選任された宣教奉仕者は以下の通り(敬称略)。
西勝(始良)、松山秀

「日本カトリック平和旬間」教区への取り組み

- ① 長崎大司教区主催「平和祈願祭」(テーマ「一人ひとりが平和の使者になる」)への自主参加・日時 八月九日(水)午後六時半・場所 浦上教会
 - ② 鹿兒島教区主催「ザビエル上陸記念祭及び平和の鐘セレモニー」・日時 八月十三日(日)午後四時半・場所 鹿兒島カテドラル
 - ③ 各小教区において「聖母被昇天のミサを平和祈願の意向で捧げる」・日時 八月十五日(火)・場所 各小教区
- 以上、鹿兒島教区司祭評議会発表

河南徳子、山田敏子、押川ハル子(ザビエル)、古木和三、迫田フミ(玉里)、四十住孝行、泉京子(紫原)、橋本嘉奈子(吉野).....

ザビエルの伴侶の名前

「ヤジロウ」「アンジロウ」「半次郎」?

先日、神言会の青山玄神父様から、神父様自ら「異論」と言われるお手紙を頂いたので一部ご紹介したい。神父様は以前ローマに留学し、日本におけるザビエルの活動について博士論文を出された方。また一九七〇年代、鹿児島教区報にも二十数回にわたって「鹿児島とザビエル」を寄せて下さった。

私は一九五九年からローマのグレゴリアン大学に留学し、日本におけるザビエルの活動についての博士論文を作成したとき、イエズス会員でザビエル研究の世界的権威者であったシニールハンマー神父に史料面でのいろいろお世話になりました。その神父様から「ヤ

ジロウとされるきつかけと

なっているのは、ザビエルを個人的には知らないロドリゲス・ツツがマカオに追放されてから書いた『日本教会史』の中で、その人の名をヤジロウとしており、日本の歴史家たちの中にはツツの言葉に従っている人たちが多くいるが、ザビエルやフロイスら四人は、いずれもアンジロウと書いている。彼らは日本語の発音に対する耳は確かだったので、アンジロウと書きなさい」と進言されました。ツツがヤジロウ説を唱えたのはアンジロウが日本名として奇妙に感じられたからでしょう。様々なことを考え合わせるとラテン語系言語(イタリア語、フランス語、スペイン語、ポル

トガル語)では「Hajiro」をアンジロウと読みますから、日本名は「半次郎」でなかつたかと思われます。鹿児島教区報にも「半次郎」説のことは書いておられます。ご参考までに。

薩摩の殉教者

レオ税所七右衛門③

洗礼後

オルファネル神父によって洗礼を授かったレオだが、世の流れから「受洗すれば殺される危険性がある」ことを覚悟していた。それでも「たとえ生命を失うことがあっても私を教会から離れさせることのできるものはない」と受洗したのだ。その彼についてはセルケイラ司教は「神の御慈悲が心にふれた人のようにあり、神は早く彼を自分のもとにお招きになりたかったようである」と表現している。

レオが最後に京泊教会を訪れたのは、11月1日の諸聖人の祝日のこと。この頃、すでに領主は洗礼を受けた者への処遇を企てていた。にもかかわらず、レオは次男を教会へ導いている。

+KABAYAN SEKSIYON+

"Paano tayo makakapagsabi tungkol sa Diyos"

Sa pagtitiwala sa kakayahan ng pantaong katuwiran na makikila ang Diyos, ang simbahan ay nagpapahayag ng kanyang tiwala sa posibleng pagbanggit tungkol sa Diyos sa lahat ng tao at kasama ng tao. Dahil ang ating kaalaman sa Diyos ay limitado. Ang ating wika o salita tungkol sa Diyos ay parehas din. Makapagsasabi lang tayo tungkol sa Diyos kung bibigyan natin ng pansin ang mga nilikha bilang pasimula at sunod sa galaw ng ating pantaong hangganan ng pagkilala at pag-iisip. Ang lahat ng nilikha ay may pagkatulad sa Diyos, lalong-lalo na ang tao na nilikha kawangis ng Diyos. Ang iba't ibang tipo ng nilikha ay nagpapakilala ng kaniilang katotohanan, kabutihan, kagandahan-lahat ito ay nagpapakita ng walang hanggan kaganapan ng Diyos. Kaya makakapagsabi tayo tungkol sa Diyos, sa lahat ng bagay na nakikita natin bilang pasimula ng pagpapahayag ng kadakilaan at kagandahan ng mga nilikha na nagpapakilala sa atin sa Diyos na Maylikha.

Ang Diyos ay di-natakdaan ng lahat nang nilikha. Kaya kailangan natin ang patuloy na paghlinis ng ating wika o salita tungkol sa lahat ng bagay na mayroon hangganan, kung hindi tayo nahilito sa imahen ng Diyos--ang Diyos "na hindi maipahayag, ang hindi maunawaan, ang hindi nakikita, at ang hindi mahawakan"--ng ating pantaong pagpapahayag. Ang ating pantaong salita ay palaging nagkukulang ng kahiwagaan ng Diyos o misteryo ng Diyos.

Kaya kung tatanggapin natin ang ganitong pagsasalita o pagpapahayag tungkol sa Diyos, ang ating wika ay ginagamit ang pantaong gawa ng pagpapahayag.

Kaya kailangan natin sa buhay ang malalim na pagkilala at karanasan tungkol sa Diyos, para makapagpapahayag din tayo sa ibang tao tungkol sa pag-iiral ng Diyos na may likha ng lahat.

Dahil ang Diyos ang pinagsisimulan ng katotohanan at kagandahan ng lahat ng nilikha.

Kaya mga Kababayan, masdan mo ang iyong sarili, "isa ka sa mga nilikha ng Diyos na kawangis niya. Kaya kailangan na magpuri at magpasalamat tayo sa Kanya.

司教執務室便り

「司教様になつてどこがどう変わつたんですか。」

いろいろなどころで、いまだに、よく聞かれる質問。一息ついた今だから聞きたくなるのかもしれない。

先週、湯布院でのMEで久しぶりに会った福岡のメンバーも「で、ドゲン変わったとね」と興味津々だった。吉野にいた頃聖書のクラスに来ておられた老ご夫婦に招待を受け、ご馳走をいただき、一息ついたところでやっぱり同じ質問をいただいた。いつも返事は同じ。「教会にいたときよ

りは楽です。」

主日のミサの準備、バスの運転、あちこちの修理、子供たちへの話し、お誕生会、先生たちとの月一回の会食などなど。楽しかった思い出は尽きない。それな

司教叙階ビフォーアフター

のに、離れてみるとその大変さばかりが思われるのはどうしてだろう。全部一人でしなければならなかったというのもさることながら、全ての責任が自分一人に直接問われていたからに



違いない。「そうか、体を張って働いていたのだ！」小教区司祭の宿命とはいえ、今更ながらのように認識を新たにす実感。

今はどうだ。責任の範囲が広がったとはいえ、間に立ってくれる人が毎日五人もいてくれる。前線の五人に身を隠しての「気ままな今が楽」と言わなくてはならないと言おう。

ジョン・ドウオン神学生の便り

「どんな司祭になりたいか？」の答え、それはキリストご自身が私たち一人ひとりに望んでいること、また、信者としてあるべき姿です。すなわち、私は神から、聖母マリアから愛された子供、私はキリストの忠実な司祭、正統で愛された弟子、教会というブドウ畑で働く愛された謙遜な僕です。「愛され」「正統な」「忠実な」「謙遜な」「誠実な」「平和な」「喜びに溢れた」司祭こそ、イエスが私に望んでいることです。「あなたはわが愛する子、わたしの心にかなう者である」この言葉は、父である神が愛する子イエスに向けて言われたことばです。私自身これらのことばは、神から、イエス様から、マリア様から、そして母なる教会から「ジョン・ドウオン、あなたはわたしの愛する者だ」と言われていることを固く信じています。ですから私は「愛されている」という事実を全身全霊で私の全存在を持って受け入れ、司祭としてこの「愛された者」になることなのです。

何ものにも比べられない、欠けることのない「愛された者」の人生はなんと美しくまた有意義なのでしょう。イエスのように善き牧者であり、忠実で柔和な僕である「愛された者」になること



は確かに難しく、挑戦を強いられる事柄です。しかし、私を愛し、召しだし、ご自分の「愛する者」として選び出した方の恵みと賜物によってそれが可能なのです。

ではどのようにしたらイエスのようになれるのでしょうか？聖母マリアはいつも「はい」と神様に言い、よく理解できなかったときでも「はい」と自分の愛するイエスに言いました。聖母マリア様はいつもイエスとともにいて、イエスを見つめ、探し、イエスを見つけたときは「イエスよ！あなたを愛しています。これから先もうあなたを見失うことはしないでしょ」と言われます。マリアはイエスの足跡を辿りました。特にカルワリオへの道ではイエスの十字架のもとに佇み、愛と信頼をこめてイエスの実際の体を抱きました。最後に、イエスとマリアのように、常に、教会とわたしの司牧と指導に信頼を寄せてくれる愛する人々に「はい」と言えますように。

このことこそわたしの望む司祭の唯一の実際のモデルなのです。

※ドウオン神学生もタム神学生(先月号で紹介)同様、アン神父、ティエン神父に続いて鹿児島に派遣される予定のベトナム人神学生。

思考

国家や民族、言語や宗教、文化など、すべての人間にわたっての普遍的な価値は一体、何なのでしょう。

それは言うまでもなく、生命の価値です。一人ひとりの存在は、かけがえない大切なものであるという生命の価値を尊ぶことです。

また、私たちがすべての生命の安穩を願うならば、地球上のすべての生き物の生命にも、心を配る必要があります。人間だけが地球上の主人公ではなく、共に生きるすべての「種」の生命を守り、地球環境に配慮することが、創造主のみ業に協力することになります。

従って、環境を破壊し、人と人とのかわりを断ち切り、生命のみならず、記憶さえも抹殺する「戦争」は最大の悪なのです。イエスの福音のメッセージは、私たちが生命の尊厳を守

平和を築くために

ることによって、はじめて、神とのかかわりを生きられることを教えています。このキリストとの出会いを通して、私たちは、苦悩の中に打ちしがれ、救いを求めている人に無関心ではいられなくなりま

私たちは、かかわりをもつ他の人々に目を向け、その人の魂の痛みを分かち合い、その人に寄り添って生きてゆく生き方を選んだのです。

膝を屈め、その胸に幼児を抱き寄せる母親のように、私たちも救いを求める人の前に膝を屈め、その苦しみに耳を傾け、魂の痛みを共感することができれば、生命を尊ぶこの生き方は、必ず、日常の生きる場に平和を築くことができると思

います。そして、私たちが生命の価値を尊ぶ生き方を真摯に受けとめるならば、生命を破壊する大きな「悪」にも打ち勝つことができると信じます。

祝 聖フランシスコ・ザビエル生誕500年



ザビエルの洗礼盤

ザビエル城

みんなで盛り上げよう!

ザビエル上陸記念祭




未来を見つめ技術と誠意でお付き合い

家電品販売

全メーカー修理・販売致します


(有)玉里電化 TEL 099-229-2964

共に祈り・学び・活動

自主学習グループ

鹿児島カトリック女性信徒の会

代表 紫原教会 平野博美



院長 田中源郎

〒890-0082 鹿児島市紫原4丁目19-10 TEL099 (251) 1225

大口明光祭

バザー

9月17日(日) 9:00~

明光人形が待ってます

大口明光学園鹿児島支部

生徒募集!

ソーイング教室

場所: びらもーる (きくやビル5階)

時間: 月曜日10:30~15:30

連絡先: 244-0473 (自宅)

227-1307 (教室)

伊作広子

Home&Life solution
 (有) HSたなか
 田中 晋司
 TANAKA SHINJI



サポート認定店

パソコン及び周辺機器の販売、修理
 DOS/V・LAN、お持ち帰り構築・インターネット対応
 SYNAPSE イタ-ネット出張サービス認定店・富士通・ソニー 会員店
 〒892-0861 鹿児島市東城元4丁目34-2
 TEL 099-248-2725 FAX 099-248-3135
 携帯 090-8663-2653

生誕500年記念のパーティーのお知らせ

—軽食・生ビール・焼酎・ソフトドリンク・カキ氷等
 用意していますので皆さんご参加ください—

日時：記念ミサ後 場所：カテドラルホール 会費：1000円(当日券あり)
 ♪ザビエル上陸450年祭の時からとっておいた記念のワインも開けますよ♪

たかさお歯科医院

アシジの聖フランシスコ
 高 竿 寛 実

〒892-0802 鹿児島市清水町17-7
 TEL099 (248) 3600

ザビエル上陸記念祭

*** 生誕500年記念 ***

2006年8月13日 日曜日



ザビエルを背負うヤジロウ



臨終のザビエル

・ザビエルウォーク

午後3時 上陸記念碑前を出発してカテドラル・ザビエル教会まで徒歩巡礼

・「平和の鐘を鳴らそう」(鹿児島ユネスコ協会)



親交のあった忍室の墓



島津貴久との会見の碑

・記念ミサ

午後5時 カテドラルで郡山健次郎司教司式

・パーティー

ミサ後 カテドラルのホールで

「ザビエル様への手紙・ザビエル川柳展も」同時開催



民衆に話すザビエル



ザビエルも歩いた町並み

皆さん、奮っておいでください

ザビエル上陸記念祭を応援します！

学校法人 聖マリア学園 **聖母幼稚園**

一人ひとりをたいせつにし、
 その子らしい人格の形成を援けるために
 モンテッソーリ教育(福音)を!!

〒890-0054 鹿児島市荒田2丁目53番11号
 TEL099 (254) 3555/TEL099 (258) 9513
 seibo@po3.synapse.ne.jp http://academic1.plala.or.jp/seibo/

聖フランシスコ・ザビエル
 生誕500年と日本上陸
 お祝いいたします

吉野教会信徒一同

Your Digital Printer
PPS
 プーナ・プリント・ショップ

谷山教会 太田 勇 二 郎
 TEL0993 (47) 0877

第49回 日本カトリック看護協会
 全国大会 IN 鹿児島

テーマ 「やめる人の中にキリストをみる」
 と き 2007年11月9日(金)~10日(土)
 会 場 鹿児島純心女子大学(薩摩川内市)
 カトリック看護協会 鹿児島支部長 松村 精子

電気のトラブル解消! => 快適な暮らし応援します。

業務内容 ●太陽光発電システム販売・工事 ●アンテナ工事
 ●オール電化工事 ●電化製品修理・販売
 ●エアコン移設・工事 ●その他電気工事

(有)マンボウサービス
 鹿児島市吉野町845-6 TEL 246-3678 FAX 246-3687



平土野に新しい教会完成

徳之島初のパイプオルガンも設置

これまで幼稚園の二階部分を聖堂として使用してきた平土野教会に、北欧を思わせる白亜の教会が完成し、六月二十九日(木)その献堂式があった。式には「徳之島は二十四年ぶり」

という郡山司教をはじめ本土、奄美からも大勢の信者が駆けつけ地元信者と喜びを共にした。

二〇〇二年に第一回の建設委員会を開き夢の実現に取り組んできた建設委員会では「新しい教会が多くの人々の心の拠り所となり、信仰を伝え育んでくれる場となつて欲しい」と喜びを

語った。

徳之島の空の青さとよくマッチした教会には、ウクライナ製の聖母子像の壁掛け、ペトロとパウロの等身大のタペストリーが飾られたほか、小型だが徳之島で初めてというパイプオルガン(ドイツ製、高さ一・八m、幅一・五m、奥行き〇・七m)も設置された。

全国大会に向けて絆を強める

教区で働く医療従事者が一堂に会して



六月二十五日(日)午後、鹿兒島カテドラルを会場に医師、看護師など医療従事者が話し合う「医療者の集い」が開かれた。

この集いはカトリック医師会鹿兒島支部(後藤正道支部長)とカトリック看護協会鹿兒島支部(松村精子支部長)が協力して企画したもので、二〇〇〇年夏に開かれて以来二度目。来

年秋、鹿兒島で開催予定(十一月九日)十日・鹿兒島純心女子大学)の「第四十九回日本カトリック看護協会全国大会」の受け入れのために、教区内の医療従事者の絆を強めようというもの。

会場には鹿兒島市内を中心に三十五人(遠くは古仁屋からも)が集まり、郡山司教の講話で医療者のあり方について学び、その後、分かち合いをし

た。

「病んでいる人は全人格的待遇を受ける権利がある」と話した郡山司教は、医療に携わる者は患者の声を聞こうとする心、出会う人をキリストと同じように大切に心、質の高い人生を送らせてあげようとする心を持つようにとメッセージを贈った。また苦しんでいる人に歩調を合わせることでできる福祉の確立にも尽力して欲しいと付け加

えた。司教講話の後は、現場からの報告と分かち合いがあり、その後の聖体賛美式で会を締めくくった。

現在、教区には各小教区の主任司教が把握しているだけでも医療従事者(薬剤師、検査技師、ケアマネージャーなど含む)は百人以上いる。医師、看護の両協会では、来年の全国大会開催のために力を結集することでの活動を活性化させた

支え合って一周年

高齢者グループ「ゆらいあい」

毎月第一・第四土曜日に、鹿兒島市唐湊の聖母寮で高齢者の集いが行われるようになって一年、七月二十九日、発足当時からこの集いにかかわってきた糸永司教による感謝ミサがささげられた。

「ゆらいあい」と呼ばれる

この集いには、鹿兒島市内だけでなく遠くは加世田方面からも参加者がある。

車での送迎サービスがあり、ミサと手作りの食事、歌などの交流が楽しめる。入居先の施設の都合や体調で主日のミサに通えなくなりがちなお年寄りにも「会のおかげでミサに行ける。

ザビエルの辿った道

門田 明氏の 鹿兒島とキリスト教④

これまで、ザビエルを日本に案内した鹿兒島人ヤジロウのことなど話してきた。今回はキリスト教を初めて日本に伝えたザビエル本人の生涯を、簡単に辿ってみよう。

ザビエルについては、鹿兒島純心女子短大の学長であった故河野純徳神父が書かれた二冊の優れた書物『聖フランシスコ・ザビエルの全生涯』『聖フランシスコ・ザビエル全書簡』があり、詳しい知識を得ることができる。それによるとザビエルは、

昔スペイン東北部にあったナバラ王国のザビエル城で、一五〇六年四月七日に誕生した。今年には生誕五百年にあたる。

十九歳のときパリ大学に入りラテン語と哲学を学ぶが、この間、イグナチオ・ロヨラと知り合い、二十八歳のときロヨラを中心に同志と誓願を立て聖職の道に入った。一五三八年、教皇に、宣教のため世界のどこにでも行くことを表明、四一年リヌソンを立ち、翌年ゴア着。ここを中心とする島々を巡り宣教活動に励んでいたが、四七年十二月、マラッカで鹿兒島の若者ヤジロウに会い、日本宣教を志すことになった。

こうして一五四九年八月十五日、ヤジロウの案内で鹿兒島に上陸、九月二十九日には伊集院で領主島津貴

久と面談、宣教の許可を得ている。が、更に日本全土福音化の夢を燃やし、翌年京都に向かった。天皇から全国宣教の許しを得ようとの願いであったが、戦乱で荒廃した都では何の成果も挙げることができず、いつたん平戸に戻り、今度は進物を携えて山口を訪れ、領主の許可を得て宣教に励み、二か月で五百人の信者を得た。

その後大分を出航しいったんゴアに帰るが、その間、中国宣教の夢を持ち、五年八月広東省上川島に上陸、中国本土に入る機会を待つうち熱病にかかり十二月三日帰らぬ人となった。不便な交通の当時、ほとんど世界半周を果たした「ザビエルの道」は、まことに立派な世界文化遺産ではないかとつくづく思う。

その目はキラキラ

子どもたちが錬成会

愛の聖母園



聖書に読み入る子どもたち

七月八日(土)児童養護施設「愛の聖母園」の小学校三・四年生の子どもたち十一人が教区本部で錬成会を開いた。園内で絶えない喧嘩がなくなるようにと、子供たちが自分たちで決めたこの錬成会のテーマは「やさしいこころ」。郡山司教の指導のもと、ルカ福音書「ザアカイの回心」に挑戦した。

錬成会で司教は、子どもたちに「やさしくなるためには他人の気持ちを考えてることが大切」と、聖書に記されていない人の心や仕事を想像させた。司教の指導のもとキラキラした瞳で聖書を読み、彼らが導き出したザアカイ像は「ザアカイさんはお金持ちでしたが、友だちのいない、独りぼっちの寂しい人でした」。この後子どもたちは、この寂しかったザアカイがなぜ優しい人にならったのかを一生懸命追求していった。

8月

会と催し

- 1日(火) アルフォンソ祭
 - 3日(木) ルーシン神父命日(一九九四年)
 - 6日(日) 主の変容
 - 7日(月) 日本カトリック平和旬間(〜15日まで)
 - 13日(日) 小平卓保神父命日(二〇〇五年)
 - 15日(火) 聖母の被昇天
 - 20日(日) 年間第二十主日
 - 21日(月) 夏期集中講座・ザビエル教会・25日まで
 - 24日(木) 聖バルトロマイ使徒
 - 27日(日) 年間第二十一主日
 - 28日(月) オーバン神父命日(一九八八年)
- ▼ザビエル上陸記念祭・ザビエルウォークスタ
15時(祇園之洲)・カテドラル(ミサ・17時)

ザビエル生誕500年記念に行く

期間 9月19日(火)〜28日(木)

内容 ザビエルが東洋に向けて船出したりスポン、初めて日本から留学したベルナルド縁の地コインブラ、天正少年使節が歩いた道、ファチマ、マドリッド、トレドなど

ポルトガル・スペイン巡礼10日間

募集人員 20人(催行最小人員15人)

同行司祭 ムイベルガ神父(谷山教会)

申込締切 8月15日(火)

主催 他宗教対話の会

旅行手配 グローバルユースビューロー

TEL099(222)2175 担当 上野

五十周年目指して頑張っています！

各地を巡ってアピール中——
加世田と枕崎の両教会

音楽と共に名産のラッ
キョウとカボチャのパネ
ル、鱈のぼりを先頭に入場
したのは、加世田教会(泉
浩二神父)とその巡回教
会・枕崎教会の面々。只今、
各地の教会を巡って献堂五
十周年記念を宣伝中だ。
一九五六年四月に加世
田教会が、同年八月に枕崎
教会が献堂され



この日はカテドラルでのアピール

た。実に今年には
献堂から半世紀、そこで合同
で五十周年を祝
うこととなつ
た。この二つの
教会は一昨年から
実行委員会を
立ち上げ、信徒
一丸となって準
備を進めてい
る。既に加世田教
会では建物を改
修、またマリア
像をより見やすい場所へ移
設するなど準備は着々。八
月二十日には郡山司教を枕
崎教会に迎えて合同の堅信
式と初聖体もあるとか。一
実行委員長の川口茂さ
んは「じっくり、みんな
準備しているの、昔話に
花が咲いたりしながら楽し
んでいる。信徒同士も一致
団結してきた」と充実ぶり
をアピール。また泉浩二神
父も「この節目に、これま
でとこれから意識して、
感謝と共に共同体全体で祝
いたい」と意気込む。実行
委員会は十一月十二日の記
念ミサと祝賀会に向けて、
教会を巡っての宣伝と記念
誌編纂に奮闘中。みなさん
応援よろしく！

マリア山荘黙想会

—キリストへの旅—

I キリスト者の喜び
一泊黙想：9月23～24日 (日帰り黙想：9月28日)
II 聖霊の導きに信頼して
一泊黙想：10月21～22日 (日帰り黙想：10月26日)
III キリストに帰る
一泊黙想：11月25～26日 (日帰り黙想：11月30日)
*一泊黙想は当日16時～11時30分
会費：3,500円(夕・朝食代含む/一部屋2~3人
定員20人)
*日帰り黙想は当日10時30分～15時
会費：1,500円(弁当代含む/定員30人)

会場及び申込方法
氏名住所を書いて、一週間前までに葉書かファ
クスで「マリア山荘黙想会係」まで
〒899-6404 霧島市溝辺町麓3616-4
TEL0995-58-2994 FAX0995-58-4320

徳之島巡礼と平土野教会献堂式

紫原教会 徳田昭子

「ゆらいあい」と名付け
られたデイサービスが、延
べ利用者五百二十七人、ボ
ランティア四百六十一人を
記録して一周年を迎えた。
一周年を記念して、平
土野教会献堂式に合せて
「徳之島巡礼の旅」が企画
された。ゆらいあい二十五
人、長崎愛宕教会九人、東
京から三人の総勢三十七人
で雨の鹿兒島空港を出発。
一時間後には、青空の下ハ
イビスカスの咲く徳之島に
到着。「歓迎」の横断幕に
迎えられる。
一日目は、六つの教会
を巡り訪問。一九五五年コ
ンベンツアル会の宣教師が
来島、一九五八年にはレデ
ンブトル修道会へと受け
継がれてきた歴史と現状を
伺い各教会で祈りと賛美を
ささげた。それぞれの時代
の宣教師の熱意は数人の神
父、シスターを輩出してき
た。夜は、長崎、東京、鹿
兒島からのメンバーが一緒
に夕食をとりながら交流で
盛り上がった。
二日目、郡山司教様司
式の献堂ミサにあずかる。
聖堂は木の香漂う落ち着い

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

純心学園 田村鏡子
さくら樹の色に魅せられ友を呼ぶ
(評)「色に魅せられ」は作者らしい写
生の佳句でよい。
出水 遠竹陸郎
百日草庭辺に咲きて夏の日日

鹿兒島 徳永ノブ子
もぎたての茄子の朝顔や主に感謝
純心学園 山頭信子
かきつばた一輪活けて聖書よみ
(評)「かきつばた」が作者を表白して
清々しい。
鹿兒島 春山マリ子
夏の夜の折る心に夢宿る
奄美 松畑義弘

炎登や自転車にまつはる影走る
(評)「影走る」の結句がよい。

純心学園 川上 和

雨上がりネムの木陰で足伸ばす
鹿兒島 本城 愛
紫陽花の朝露消えて色あわれ
鹿兒島 龍門司真人
関平の霧に包まれ一夜旅

短歌 (思川短歌会作品)

出水 泉みどり
思川の清き源流いとしけり父母の思
い出従姉妹と迎る
(評)故郷を偲ぶ「従姉妹」の結句が
よい。
純心学園 川上 和
マラッカの丘の聖母堂仰ぎ見てザビ
エル偲ぶ廃虚の影に

庭先で去りゆく孫を見送りぬふりむきな
明光学園 森 博伸

がら手をふる孫を

鹿兒島 前田儀子
緑こく日太りゆく枇杷の実が風に
揺れをり恵方のように
鹿兒島 春山マリ子
主の深き支えたまわり生かさぬ心
新たに満たされてをり

阿久根 中津濱フサエ

軒先に母とかざりし七夕の幼き願い
一日偲ばん
奄美 林 明子
夫婦というあなたのためにいのつている
平和と愛をかなえていこうね
(評)結句の口語のよびかけがよい。
出水 遠竹陸郎
一面に伸びし青田を眺めつつ新幹線
は走りゆくなり

鹿兒島 田平新太郎
鑑真の上陸記念館尊ばん波音きらめく坊
津訪ひて

た雰囲気。左側に絶えざる
御助けの聖母子の壁掛け、
右側には聖ペトロと聖パウ
ロのタペストリー、中央に
はフランチェスコに語りか
けたイエスの十字架。小型
のパイプオルガンとラテン
語のミサ曲が、太い力強い
うたごえとなって開け放た
れた窓から広がっていく。
記念式典で建設実行委
員長は「皆さんの祈りのう
ちに色々なことを乗り越え
て、今日のこの日を迎える
ことができ、涙の出る思い」
と語られた。そして「この
教会が多岐の人の心の拠り
所となり、信仰を伝え育ん
でいく場となるよう願う」
と。その後の祝賀会では、

喜びがはじけ、島唄、フィ
リピンの歌、ドイツの歌、
そしてゆらいあいのメンバ
ーもかねて練習してきた三
曲で盛り上げた。
フィナーレの六調で、
踊りの輪が広がり、神父様、
シスター、信者、島の人々、
一緒になって喜びの祝宴が
続く中、私たちは会場を後
に、帰途についた。青空い
っぱいに、主のみ業を賛美
しつつ。

ある。確かにそうだが、
大勢集まることによつて
得られる一体感もある。
大勢集まる姿を見て、メ
ッセージを受け取ること
もある。
ザビエル様は異教の地
に来て人を集め福音を伝
えるのどんな工夫をし
し、苦勞を乗り越えたの
か。教えを歌にして子供
達に伝えたとか、布教の
許可を得るために殿様に
贈り物をしたとか。
ずっと様々な工夫をし
てきた実行委員会だが、
これからのさらに聖節に
做つて行きたい。皆さん、
集まれる人も集まらない
人もどうか何かの形で参
加してください。

「ここに集まれ」
今年の上陸記念祭は
様々な企画が盛りだくさ
ん。徒歩巡礼、平和の鐘
ミサはもちろん、パーテ
ィーやザビエル様への手
紙や川柳の展示まであ
る。たくさんの方に参加
して欲しい。実行委員会
ではミサに五百人参加を
目標にしている。これは、
市内教会の日曜のミサに
来る方々の大半が参加す
ると実現できる。
参加者がすべてでは
ない、人を増やすために
本来の目的から逸れては
意味がない、集まらなく
ても祈れる、との意見も

お知らせ

「講演会」
テーマ 「医療とスピリチ
ュアルティ」(生きる希
望への可能性)——その
人らしさを支えるとは

講演者 ロルフ・ヴェルス
博士

日時 八月二十六日(土)
十三時

場所 鹿兒島中央公民館
入場料 千円(学生割引あり)

主催 臨床パストラルケ
ア教育研修センター
申込・お問合せ
TEL099(582)2926 奥村
TEL099(552)1644 松村



週刊カトリック新聞

へえ、日本の教会は
今こうなんだ・・・
ザビエル

カトリック新聞は、日本のカトリック教会唯一の週刊全国紙です。全国、海外の購読者様のお手元へ毎週直送いたします。また、全国のサンパワロ・女子パウロ会書店でも販売しております。

1部本体価格150円(税・送料別)
購読料金(前納、税・送料込)
半年4740円・1年9480円

見本紙贈呈いたします

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館5階 カトリック新聞社
TEL 03-5632-4432 FAX 03-5632-7030 Email kodoku@cwjpn.com